

2024年9月21日(土)
日本環境会議 第39回東京大会 全体会「環境から軍事を問う」 報告

地域社会・地方財政から 南西シフトと軍事要塞化を問う

—伊江島と与那国島を中心に—



関 耕平
(島根大学法文学部)



自己紹介—関 耕平

- 秋田県鹿角市出身、岩手大学卒
- 一橋大学大学院経済学研究科 博士（経済学）
- 2005年から島根大学へ赴任
- 専門は財政学・地方財政論、環境経済学
- 研究テーマは、離島医療機関を支える都道府県の役割
震災復興の行財政分析、農山村再生政策の分析など
- 2021.11-2022.8
琉球大学にてサバティカルー研究専念期間
客員研究員として沖縄に滞在



地域が抱える “生きづらさ”に どう向き合うか

山陰における福祉課題の解決への糸路

山陰研究ブックレット6

三江線の 過去・現在・未来

地域の持続可能性とローカル線の役割

関 耕平

会下 和家

田中 義昭

岡崎 勝彦

保母 武彦

政森 達

有田 泰二

飯野 公央



「田植えする人々」の手元が見えて、
人間が人間らしく生きる農村風景を
車窓から望むことができる三江線。

……廃線で失うものに思いをはせて刊行する1冊

平和で豊かな 沖縄をもとめて

「復帰50年」を問う

宮本憲一・桜井国俊・砂川かおり・石川 満・山野良一
白藤博行・小林 武・照屋義実・島袋隆志・川瀬光義 著

おきなわ住民自治研究所 編



自治体研究社

しまねの未来と 県政を考える

山陰発・地方再生への提言2

保母 武彦 著

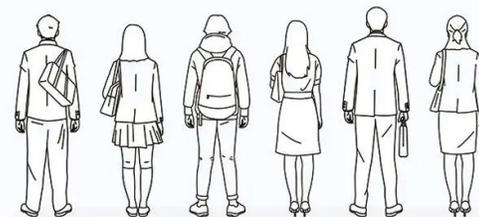
しまね県政研究所 編

山陰研究ブックレット11

「教育+若者」が 切り拓く未来

山陰発・持続可能な
地域へのアプローチ

関 藤 樋 田 宮
耕 本 田 中 本
平 晴 有 一 輝 恭
久 久 郎 美 子



今井出版

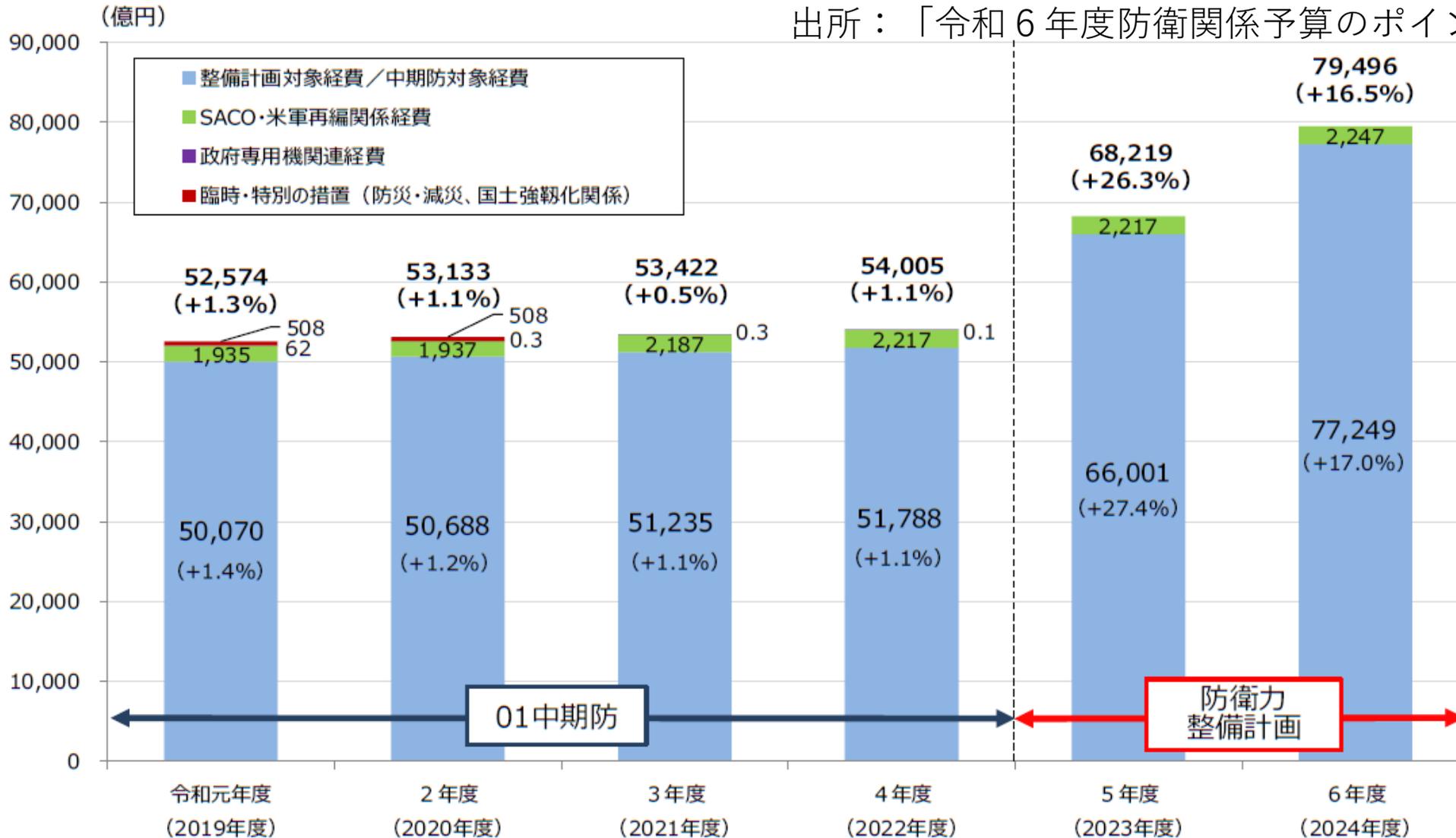
本報告の目的

急激に進む軍事要塞化と、そこでの地方財政の役割に焦点を当てながら、沖縄の離島において進行する環境破壊と地域社会の破壊について、その一端を明らかにする。

また、地域社会の破壊にたいして住民がどのように苦闘しているのか、さらにはオルタナティブの萌芽はどこにあるのかについても考えてみたい。

「大砲か、バタ－か」が リアルに問われる時代へ

出所：「令和6年度防衛関係予算のポイント」（2023年12月）



(注1) 当初予算ベース

「大砲か、バターか」が リアルに問われる時代へ

- 2022年12月、岸田政権が、2027年度までに軍事費をGDP比2%以上に増やすと表明
- 軍事費を二倍化を目標に設定
- 2025年度（来年度）予算概算要求額：**8兆4989億円**
- 軍事費の急増は、社会保障費や文教費といった国民生活に密接な経費を圧迫する
- 軍事基地の新設・強化によって環境および地域社会の破壊を引き起こしている
- 地方財政の状況と地域社会の破壊について、さらに地域からのオルタナティブを考える

離島にかんする政策研究の重要性

離島のナショナル・ミニマム保障の水準が意味するもの

久場政彦（1979）「離島振興政策の検討」

『開発と自治の展望・沖縄』筑摩書房

「**離島問題は…国の福祉水準を示すうえにおいてもっとも重要な要素**の一つである…。…なぜなら、**国の福祉水準とは全国の平均によって示されるのではなく、…離島・へき地など限界地域のレベルが…憲法の保障する「健康で文化的な生活」を営むに足るものになっているかどうかによって明らかにすべきもの**だからである。…したがって、**離島・へき地の福祉水準を引き上げることが、…わが国の福祉国家としての実質を高め、かつその前進を示すことになる**のである。」（195頁）

離島の福祉水準の向上が、「**軍事要塞化**」と
引き換えになっている**離島の現状**

沖縄関係経費（一般会計分）の推移

（億円）

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
内閣府沖縄担当部局	3,010	3,010	2,684	2,679	2,678
沖縄振興交付金事業推進費	1,014	981	763	759	763
沖縄振興特別推進交付金（ソフト）	522	504	394	390	394
沖縄振興公共投資交付金（ハード）	492	477	368	368	368
防衛省	2,820	2,751	2,745	3,097	3,163
農林水産省	5	4	4	4	4
その他	63	53	71	67	46
合計	5,898	5,721	5,400	5,745	5,790

りゅうぎん総合研究所（2024年5月30日）「沖縄県の主要経済指標」より

*1999年度（予算）

沖縄開発庁 3,282億円にたいし 防衛施設庁 1,720億円

離島における地域社会・地方財政と「軍事要塞化」

- 伊江島 と 与那国島 における実態について明らかにする。



伊江村： 人口 4,300人弱
島の面積の35%が米軍基地

伊江村医療保健センター



○医療保健センター建設事業の財源

補助メニュー：特定防衛施設周辺整備調整交付金事業

実施年度：1990-1992年度

(千円)

*村提供資料

施設名	事業概要	事業費	負担区分		年度
			国庫補助	村費	
医療保健センター	実施設計	20,899	20,837	62	1990年
	建築・電気・機械 RC3階建	283,772	236,839	46,933	1991年
		324,051	261,028	63,023	1992年
	計	628,722	518,704	110,018	



沖縄振興予算（内閣府所管）は、
基地と無関係か？

沖縄振興特別推進交付金事業

(単位：円)

年 度	事 業 概 要	事 業 費	内 訳
平成 24 年度	基 本 実 施 設 計	19,845,000	推進交付金：24,256,000 一 般 財 源：6,065,000
	測 量 ・ 地 質 調 査	4,305,000	
	用 地 買 収	6,171,000	
	合 計	30,321,000	
平成 25 年度	工 事 監 理 業 務	8,400,000	推進交付金：360,555,000 町村支援交付金：1,814,000 一 般 財 源：96,958,750
	建 築 工 事	201,075,000	
	電 気 設 備 工 事	91,350,000	
	機 械 設 備 工 事	56,385,000	
	昇 降 設 備 工 事	19,425,000	
	備品購入(人工透析医療機器)	63,414,750	
	備品購入(一般医療機器)	14,794,500	
	備品購入(一般備品)	4,483,500	
	合 計	459,327,750	
合 計	489,648,750		

**事業費4.9億円
うち
推進交付金
3.8億円**

沖縄振興予算の推移

(億円)

知事		沖縄振興予算	前年比増減	概算要求額 からの増減	うち沖縄振興 一括交付金	前年比増減
仲井真	2011年度	2301	-	-3	321	-
	2012年度	2937	27.6%	500	1575	-
	2013年度	3001	2.2%	340	1613	2.4%
翁長	2014年度	3501	16.7%	93	1754	8.7%
	2015年度	3340	-4.6%	-454	1618	-7.8%
	2016年度	3350	0.3%	-79	1613	-0.3%
	2017年度	3150	-6.0%	-60	1358	-15.8%
玉城	2018年度	3010	-4.4%	-180	1188	-12.5%
	2019年度	3010	0.0%	-180	1188	0.0%
	2020年度	3010	0.0%	-180	1014	-14.6%
	2021年度	3010	0.0%	-96	981	-3.3%
	2022年度	2680	-11.0%	-318	762	-22.3%

出所：内閣府ホームページより作成

基地の存在の対する沈黙と分断

◆伊江島

伊江村史2編さん委員会編『世紀転換期における伊江島の諸相：1972年～2008年』

- 島のあらゆる公共施設のテープカットには必ず、**沖縄防衛局長が臨席**
- 村立による診療所、透析センターの維持運営
- その背景には、基地関連交付金：開所式に**沖縄防衛局長**が出席
看護師の人件費等ソフト事業への充当が2011年から可能に

伊江島の島民生活を支えてきた財政的裏付け = 基地関連予算
👉 基地の存在に対する沈黙と分断

【伊江村】特定防衛施設周辺整備調整交付金事業実績(2018年):3.3億円

*伊江村役場提供資料

年度	事業名	事業費(円)	交付金額	事業の内容
2018	伊江村防災無線デジタル化整備事業	7,884,000	7,884,000	実施設計 一式
	村道馬場並里線整備工事	28,836,000	22,100,000	街路樹整備:L=434m
	死亡獣蓄取扱場フォークリフト購入	1,998,000	1,598,000	2.5tフォークリフト1台
	伊江村畜産総合計画策定業務	10,951,000	6,400,000	基本構想策定一式
	特産品加工施設空調改修工事	9,514,800	8,000,000	改修工事:S=408.26㎡
	総合運動公園整備野球場備品購入事業	35,359,200	28,100,000	室内備品 一式、スポーツ備品 一式
	西江上集落道17号排水路整備工事実施設計	3,672,000	3,040,000	実施設計 一式
	西江前集落道9号道路整備工事(実施設計)	5,724,000	3,600,000	実施設計 一式
	東江上集落道21号道路整備工事	26,082,000	24,200,000	整備工事L=199.767、W=5.0m
	西江前集落道10号道路整備工事(実施設計)	7,171,200	6,400,000	実施設計一式
	公共用備品購入	4,557,600	4,200,000	パワーテント1張、屋外用テーブル100台
	伊江村立保育所運営事業	39,684,640	20,000,000	人件費:保育士19名
	伊江村立幼稚園増改築整備工事	113,486,400	83,445,000	伊江幼稚園:S=123.64㎡、西幼稚園:S=174.33㎡
	伊江中学校学習用備品購入	32,929,200	25,000,000	パソコン41台、電子黒板8台、サーバー1台
	伊江村立診療所透析センター維持管理運営事業	35,000,000	35,000,000	医療施設の維持管理運営費
	伊江村救急患者搬送船運営事業	8,000,000	8,000,000	救急患者搬送船の維持管理に伴う運営費
	伊江村環境衛生施設維持運営事業	4,500,000	4,500,000	環境衛生施設の維持運営経費
	伊江村水道施設整備事業	5,000,000	5,000,000	水道施設の整備に係る経費
	伊江村総合運動公園施設維持運営事業	4,700,000	4,700,000	総合運動公園施設の維持運営経費
	伊江村立保育所運営事業	35,000,000	35,000,000	保育所の運営に係る経費

【伊江村】特定防衛施設周辺整備調整交付金事業実績(2019年): 3.3億円

*伊江村役場提供資料

年度	事業名	事業費(円)	交付金額	事業の内容
2019	漁業集落公園施設改修工事	29,150,000	23,540,000	改修工事 L=289m
	西江上地区排水施設整備工事	29,595,000	24,400,000	整備工事 排水工L=114m
	村民レク広場備品購入事業	3,245,000	2,600,000	3連リールモア
	西江前集落道10号道路整備工事	29,890,000	24,500,000	整備工事 L=138.45m、W=5.0m
	具志配水浄化施設機器購入	22,000,000	17,800,000	制御盤機器、原水設備、駆動装置 一式
	E&Cセンターろ過式集じん器機器購入	25,300,000	21,816,000	ろ過式集じん器 一式
	E&Cセンターホイールローダ購入	9,240,000	7,392,000	ホイールローダ 1台
	伊江村青少年旅行村トイレ整備工事	36,751,000	33,108,000	整備工事 A=46.45㎡
	保健活動車両購入事業	2,681,800	2,300,000	保健活動車両 1台
	伊江島はにくずに施設改修工事	48,191,000	44,851,000	実施設計 一式、整備工事 S=1,400㎡
	村立幼稚園遊具整備事業	5,445,000	4,800,000	鉄棒、シーソー、ブランコ 一式
	小学校ブロック塀改修事業	16,500,000	13,400,000	実施設計 一式
	観光地クリーン備品購入事業	6,639,600	5,300,000	乗用芝刈り機、軽トラック、2トントラック
	防火衣購入事業	1,529,000	1,500,000	防火衣、防火帽、空気呼吸器 3式
	東江前区公民館空調改修工事	12,309,000	9,990,000	実施設計 一式、整備工事 S=331㎡
	旧ターミナル待合所備品購入	3,190,000	2,700,000	ロビーチェア20台、テレビ 一式
	伊江村立診療所透析センター維持運営事業	10,000,000	10,000,000	医療施設の維持管理運営費
	伊江村救急患者搬送船運営事業	12,144,000	12,144,000	救急患者搬送船の維持管理経費
	伊江村環境衛生施設維持運営事業	35,000,000	35,000,000	環境衛生施設の維持管理運営費
	伊江村総合運動公園施設維持運営事業	4,700,000	4,700,000	総合運動公園施設の維持運営費
伊江村立保育所運営事業	35,000,000	35,000,000	保育所の運営に係る経費	



伊江島農業委員会会長・玉城増生さん



伊江島にみる地域からのオルタナティブ

- 花きや畜産、サトウキビといった第一次産業中心の島の産業構造
- 軍用地料が高く設定されているため、投機対象として島外者所有の耕作放棄された農地が増加傾向
- リゾートホテル建設への圧力も高まる

■オルタナティブの模索

- リゾート開発のための農地指定解除を拒否
- サトウキビを圧縮した搾りかす（バガス）や牛糞のたい肥化など、耕畜連携によって循環型の持続可能な農畜産業とブランド化を目指す 振興予算や基地関連予算を活用して、たい肥センターや肥育センターの整備＝逆手にとる



軍用地料をも凌駕する第一次産業の高付加価値化・ブランド化へ！

島根県隠岐郡知夫村と連携を目指して

南西諸島における自衛隊基地の新設・強化

• 宮古島：

地対艦・地対空ミサイル部隊など約700名の自衛官が新規配備

- 2022年4月：小銃を手にした自衛隊員が駐屯地正門に配置
- 駐屯地弾薬庫が島の中でも高地に位置するため、島民の生活を支える地下水の汚染が懸念される（配備反対の先頭立つ開業医の岸本邦弘さんによる）
- 軍事要塞化をめぐる利権もうごめく：駐屯地の土地売買をめぐる汚職で前市長が逮捕

宮古島におけるミサイル配備基地とレーダー基地



← 基地敷地内となった
御嶽（うたき）



仏桑花(ぶっそうげ)
そこには咲くな
そこは基地
汝(な)が紅(くれない)は
沖縄のもの
(山原健二郎)



急速に進む軍事要塞化 @宮古島



宮古島を戦場にしないで

陸上自衛隊

米軍も
共同で使う

ミサイル基地いらない!!

ミサイル基地いらない宮古島住民連絡会

南西諸島における自衛隊基地の新設・強化

- **石垣島**：新基地建設

駐屯地の土地の確保過程の不透明さが指摘：利権も見え隠れ

- 2019年3月から島の真ん中で自衛隊駐屯地整備工事
- 県アセス条例逃れのための着工
- カンムリワシへの影響懸念
- 石垣駐屯地、1.5倍へ拡張の計画で八重山農高の演習林に隣接

与那国島の現状



- 女性酋長・イソバの伝説
- 自衛隊駐屯の賛否をめぐる住民投票：結果は賛成632票、反対445票
- 住民の分断と沈黙
- 急ピッチで進められた駐屯地整備事業のため、空き家を建設労働者向けの滞在スペースとして大規模に借り上げ・整備するなど一時的に「特需」に沸いた
- 2016年 陸上自衛隊基地開設
- 沿岸監視隊のみ、のはずが、電子戦部隊・ミサイル部隊配置が進行
- 沖縄県内最大級の湿地帯・樽舞干潟を破壊する比川港の整備計画
- 島内人口：1700人弱 うち自衛隊員・家族 350名（約2割）
- P A C 3 の一時配備、日米軍事合同演習の実施など住民説明なし

与那国島・ティンダバナから祖納集落を望む



讚・與那國

伊波南哲

萬湖の忠文とくに流れて

千古の心算をはりて

長と力を兼ね備へて

命海の防波與那國島

行き渡り水

己の美と力を命

命海の防波與那國島

伊波南哲「讚・与那国」

与那国島を「不沈母艦」に例える

讚 ・ 與那國島

伊波南哲（詩人・作家） 代表作「オヤケ・アカハチ」

*本田博利先生のご示唆による

荒潮の息吹にぬれて／千古の伝説をはらみ／美と力を兼ね備えた
南海の防壁與那國島・・・

・・・巍然とそそり立つ與那國島よ。

お、汝は

黙々として

皇国南海の鎮護に挺身する

沈まざる二十五万噸の航空母艦だ。

紀元二千六百三年三月

(*1943年)

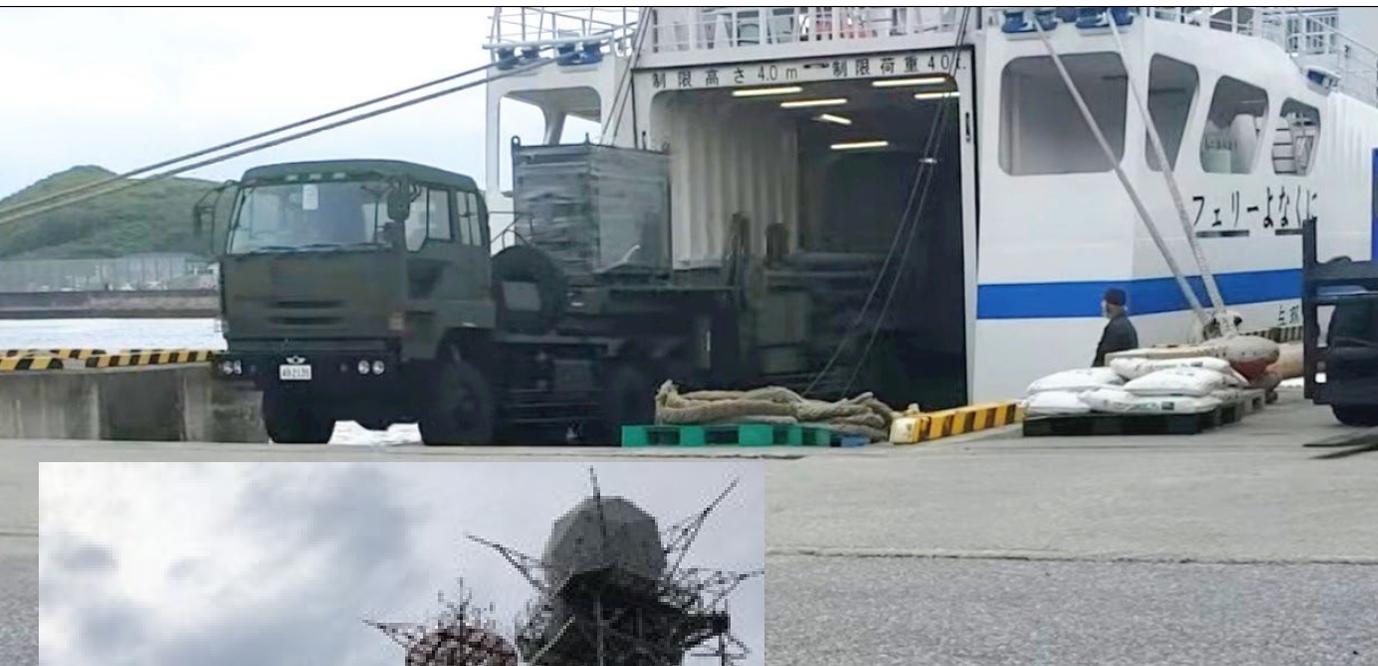


写真2点、植埜貴子氏提供
(住民説明会写真：後掲も)





与那国町ごみ処理施設の完成について

与那国町ごみ処理施設の完成について

令和3年7月30日、与那国町ごみ処理施設の落成式が行われ、外間与那国町長(当時)をはじめ関係者の方々が出席し、施設の完成を祝いました。

本施設は、与那国町及び与那国駐屯地から排出される廃棄物を継続的かつ安定的に受け入れ処分するため、与那国町が防衛省の防衛施設周辺整備助成事業(補助額約2.1億円)を活用し新たに整備したものです。

当局といたしましては、地域住民の皆様方の生活と防衛施設との調和を図ることが何よりも重要であると認識しており、今後とも防衛施設周辺の皆様方の生活の安定及び福祉の向上に寄与するための各種施策の実施に取り組んでまいります。



ごみ処理施設外観



ごみピット・ごみクレーン

～施設案内～

- 全天候型 400mトラック 9レーン
- 投てき場
- 走り幅跳び
- 応援スタンド
- トイレ（男子用・女子用）

～グラウンド愛称「黒潮の風（くるうすめかでい）」の由来～

このグラウンド愛称は与那国島の小中学生から募集しました。

その愛称の由来は

与那国島は黒潮源流域に位置しています。

そのため、駐屯地のグラウンドは黒潮の風を直接体感することができます。

また、「黒潮」という言葉の響きも力強い陸上自衛隊のイメージにぴったりだと思いました。

更に、このグラウンドで走る人達が「黒潮の風」のように速く走ってほしいという願いも込めています。

命名者 久部良中学校 2年生 後安里 蓮樹さん

このグラウンドは、与那国島の方々も利用できる施設です。

完 成：令和 2 年 11 月 20 日
落成式：令和 2 年 11 月 28 日

2016年駐屯地開設後に進む社会資本整備

- 与那国町民の悲願であった、ごみ焼却施設や学校給食センター
- 厚労省や文科省予算ではなく、2016年に自衛隊の駐屯地の開設と引き換えに交付された防衛省予算によって実現
- 自衛隊基地の土地使用料1500万円を活用した給食費無償化
- 実際は、駐屯のための社会インフラ整備が必要になったので
必ずしもプラスにはなっていない（町役場ヒアリング）
- それでも、あたかも基地配備の「恩恵」かのごとく映じる
- 離島の社会資本整備、社会サービスの充実、ナショナルミニマム保障は、軍事要塞化受入とは無関係に進められるべきことにもかわらず・・・
- 久場政彦先生の離島研究の意義についての指摘を想起せよ



贈
崎元の

Several people are seated at tables in the foreground, some using laptops. They appear to be engaged in a discussion or presentation.

Several people are seated at tables on the right side of the stage, some using laptops. They appear to be engaged in a discussion or presentation.

与那国島にみる地域からのオルタナティブ

- 『与那国・自立へのビジョン 自立・自治・共生 ～アジアと結ぶ国境の島 YONAGUNI』
(2005年) = 台湾（密）交易で栄えたかつての輝きの現代的再生
- 与那国島を「抑止力のフロンティア」ではなく、緩衝地帯へ
- 駐屯地建設の開始 「分断と沈黙」

■オルタナティブの模索

- 樽舞干潟保全への動き
- 「与那国の戦争」展示開催の動き
- 公民館総会での町に説明を求める動き（議会はなかなか困難）2024.5
- 島の文化・伝統にひきつけられる若者たち *クバの葉による工芸品
- 畜産で踏ん張る若者たち
- 12年ぶりに育鵬社の教科書を採択せず（八重山地域の教育委員会）

2024.8

あそまいしづけん あそまいしづけん みらい
樽舞湿原を未来へ

生き物の住処、琉球列島最大級の湿地を潰さないで

のこそう！



**クバ民具を制作する
與那覇有羽さん**

与那国島において町民の悲願であったごみ焼却施設や学校給食センターの整備は、**厚労省や文科省予算ではなく、2016年に自衛隊の駐屯地の開設と引き換えに交付された防衛省予算によって実現**した。

また、米軍基地が島の35%を占める沖縄本島に近い伊江島では、**村立診療所をはじめとした公共施設の開所式には例外なく沖縄防衛局長が訪れてテープカット**してきたことに示されるように、防衛省予算を中心とした基地財政歳入によって整備されてきた。

本来は国内のどこに住んでいても国民として最低限必要とされる、医療・福祉・介護や教育などのナショナルミニマムが、**あたかも軍事基地受け入れの代償として提供されているかのようなこうした実態は、財源保障機能を後退させて地方自治を侵害する深刻なもの。**

地域から軍事拠点化への オルタナティブを考える

- 阿波根昌鴻（1901-2002）による伊江島土地闘争
- 1980年代のハリアー配備反対闘争以後、沈静化
- 『米軍と農民』（岩波新書）1973年
「そこ（反基地闘争）には、
『たたかいとたたかい』ではなく、
『生活とたたかい』があり
『生産とたたかい』があった」



「生活」と「生産」を起点にした オルタナティブと政策研究

- 2024.4 うるま市のゴルフ場跡地に陸上自衛隊の訓練場を新設する計画断念 生活環境破壊への懸念で住民が一致
- 与那国島での伝統と文化、産業に立ち返る若者たち
- 第一次産業のブランド化により、軍用地料を凌駕する生産性を目指す、玉城増生さん（村農業委員会会長）

■求められる政策研究

- 宮本憲一先生たちが見出した読谷村や平良敏子さんの芭蕉布
- そこからさらに展開し、文化・伝統的な色彩をより強め、豊富化しつつある沖縄の内発的発展の事例に基づき分析・定式化@与那国島
- **軍事基地に代わる沖縄の将来像の提示と実現に向けた政策研究**
- **離島のナショナルミニマムを保障する地方財政のあり方**

日本国憲法の真価を私たちに問う“沖縄”

「沖縄のころ」：

- 日本復帰を求めるのは、
- 1.米軍基地の撤廃 = 反戦平和
 - 2.差別のない基本的人権の確立
 - 3.沖縄の自治権の確立

- 明治憲法から日本国憲法に変わる際に大きく追加された条項

第2章 「戦争の放棄」 (平和主義)

第8章 「地方自治」

これを求め続けてきたと同時に、踏みにじられ続けてきた沖縄

主権者としてはもちろん、研究者としてもこのことをちゃんと受け止めて研究をしていきます。

